

第1次開催要綱

学びつながら 深めるとき!

そして障害児教育の

未来を語るとき!

第14回
全国
障害児
学級・学校
学習交流
集会



日程：1月10日（土）
～ 12日（月）

参加費：3,000円（1日のみ参加は2,000円、
フォーラムのみ参加1,000円）

2015. 1. 10-12

会場：10日 全体会／和歌山県民文化会館大ホール
11～12日／勤労者総合センターなど

10日 (土)		12:00-受付	13:00-14:30	14:50-16:30	18:00-20:30
			開会全体会	記念講演 越野和之氏	全体交流会
	会場		和歌山県民文化会館		ダイワロイネットホテル
11日 (日)	9:30-11:30	昼 食 休 憩	13:00-17:30		18:00-
	・てんこ盛り講座(14テーマの講座) ・文化バザール(5つの教室)		・基礎講座 ・旬の実践分科会(15の分科会)		交流会(各県ブロック・ 青年・障害児学級ごと)
	勤労者総合センター、和歌山県民文化会館等			アパロームきのくに	
12日 (月)	9:30-12:00				
	教育フォーラム(4つのテーマ)				
	和歌山県民文化会館、アパローム等				

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・和歌山実行委員会
【お問い合わせ】 TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

1 / 10 (土)

全体会 13:00~16:30

全体会会場：和歌山市/和歌山県民文化会館大ホール

(アクセス：JR「和歌山」南海「和歌山市」駅よりバス「県庁前」下車)

- ◇ 現地あいさつ
- ◇ 特別報告
- ◇ 実行委員長あいさつ
- ◇ 記念講演
- ◇ 基調報告
- ◇ 閉会あいさつ



◇記念講演 15:40~16:20

『どの子どもにも子ども時代にふさわしい豊かな学びと生活を

～憲法、子どもの権利条約、障害者権利条約を生かす障害児教育』

講師：越野 和之氏（奈良教育大学）

全体交流会 18:00



会場：ダイワロイネットホテル

※和歌山市役所となり

参加費6,000円

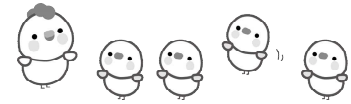
住所：〒640-8156 和歌山市七番町 26-1

TEL：073-435-0055

てんこ盛り講座 1/11 9:30~11:30

講座名	講師
わくわくどきどき楽しい国語	東 哲哉 さん (京都)
わくわくどきどき楽しい算数	覚道幸久・杉田由美さん (和歌山)
わくわくどきどき楽しい理科	射場 隆 さん (京都)
わくわくどきどき楽しい音楽	浅尾世津子 さん (大阪)
わくわくどきどき楽しい美術	板井 理 さん (大阪)
わくわくどきどき楽しい体育	佐々木和彦 さん (大阪)
障害児学級の授業づくり・学級づくり	大島 悦子 さん (大阪)
障害の重い子の発達を学ぶ	南 有紀 さん (和歌山)
「見え」からひろく重症児の教育と発達	崎山 麻里 さん (和歌山)
元気にやろうよ性教育	千住 真理子 さん (大阪)
キャリア教育を考える	小畑 耕作 さん (大和大)
通級指導教室での発達障害児の教育	内橋 寿文 さん (兵庫)
つながろう障害児学級	全 国 事 務 局
集まれ 臨時教職員	大阪の臨時教職員のみなさん

文化バザール(1/11) 9:30~11:30



講座名	講師
中国ゴマ・手品	佐藤 比呂二 さん(東京)
わくわく・かんたんおもちゃづくり	林 智志 さん(和歌山) ※材料費徴収します
楽しく簡単にできる版画	川嶋 夏生 さん(和歌山) ※材料費徴収します
けん玉講座	神崎 和広 さん(和歌山)
Let's Dance! 踊るって楽しい!~すぐに踊れるジャズダンス~	奥田 清美 さん(和歌山)

基礎講座(1/11) 13:00~17:30

講座名	講師
人間ほどわからないものはない	原田 文孝 さん(兵庫)
ホントのねがいをつかむ ~子どもの心に寄り添うとは~	佐藤 比呂二 さん(東京)

旬の実践分科会(1/11) 13:00~17:30

旬の実践分科会	共同研究者
1,障害児学級(小学校)での教育実践	越野 和之 さん(奈良教育大学)
《Re》辻 昌子 さん(和歌山)「つらい、切ない子どもたち」 坂根 隆一さん(京都)「Aくんと共に」 立川 都 さん(東京)「子どもたちと素敵な時間を過ごしたくて~悩んで取り組んできた”ころとからだの勉強”」	
2,障害児学級(中学校)での教育実践	山下 洋児 さん(東京)
《Re》久安 孝典さん(和歌山)「本校の特別支援教育のとりくみーコーディネーターとしてかかわってー」 加藤 由紀さん(大阪)「集団と文化を大切にす学級のとりくみのなかで」 貝田 節子さん(埼玉)「音楽で育つ~歌を通して出会った子どもたち」	
3,発達障害児の教育実践(小・中)	宮本 郷子 さん(追手門大学)
《Re》谷口 拓さん(和歌山)「興味・関心をひきつける授業」 熊本 勝重さん(大阪)「アスペルガー児童の苦悩ーいじめ被害から自分をとりもどせるのかー」 小池 えり子さん(東京)「発達障害の子どもたちと過ごす学校生活~みんなで一緒に悩んでいこうよ」	
4,発達障害児の教育実践(高)	妹尾 豊広さん(東京)
《Re》間賀田 清子さん(神奈川)「意欲をもたせ心を繋ぐ家庭科指導~実践のくふうと子ども達の変化」 中筋 達也さん(奈良)「節目に寄り添う~高等部の実践」 田中 雅子さん(東京)「発達障害のある生徒を受けもった担任を支援する」	
5,視覚障害児の教育実践	川野 吏恵 さん(岡山)
《Re》三木 浄 さん(和歌山)「体験教室のとりくみ~個別の支援から集まる支援へ」 豊田 悦子さん(兵庫)「『一緒に行こう』の心に寄り添う」 高田 学 さん(岡山)「盲学校寄宿舎における自治活動」	
6,聴覚障害の教育実践	加藤登美子さん(発達センターポポロ)
《Re》岡 紀久子さん(和歌山)「ろう学校における音楽教育~やりたい、見たい、聞きたい気持ち」 廣瀬彩菜・小塚玲子さん(埼玉)「高等部における放課後補習のとりくみ」	
7, 発達の遅れと授業づくり教育課程づくり ア、最重度と言われる子どもたち	河合 隆平 さん(金沢大学)
《Re》芝崎 裕美さん(和歌山)「みんなとつながってる!ータブレットで通学生とつなぐ訪問教育のとりくみ」 藤本 千恵さん(滋賀)「障害の重い子どものコミュニケーション『一緒に感じよう、お話の世界』~ベッドサイドのとりくみより」 清野 祥範さん(神奈川)「障害の重い子のコミュニケーションの授業」	

旬の実践分科会	共同研究者
8,発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり イ、ことば獲得期までの子どもたち	高木 尚 さん(東京)
《Re》沖見 あさひさん(和歌山)「楽しむ心から、自分で学ぶ～南紀支援学校での実践から」 竹内 みずき さん(奈良)「たまごのあかちゃん一言葉と手で感じてつくろう」 市橋 博子さん(北海道)「笑顔いっぱい～育ちあう学級づくり」	
9,発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ウ、教科・教科入門の子どもたち	櫻井 宏明 さん(埼玉)
《Re》古澤 裕子さん(和歌山)「肢体不自由児教育について その実践より」 水野 萌由さん(大阪)「わかった!やった!できた!—小学部1年生、初めての勉強」 渡邊 悌 さん(北海道)「知的障害を持つR君の学級指導を考える～外言語から表象力、分かることと自信獲得、そしてコミュニケーション力へ～」	
10,自閉症・自閉的傾向のある子どもたちの授業づくり・ 教育課程づくりⅠ(幼、小)	三木 裕和 さん(鳥取大学)
《Re》和田 佳奈子さん(和歌山)「みんなの手ごたえを目指して—低学年体育(ジャングルマット)の実践—」 村木 綾乃さん(滋賀)「人としての豊かさを～友だち集団の中で」 塚田 直也さん(東京)「隼くんへの三年間の指導を振り返って」	
11,自閉症・自閉的傾向のある子どもたちの授業づくり・ 教育課程づくりⅡ(中、高)	白石恵理子さん(滋賀大学)
《Re》小林 史 さん(和歌山)「自閉症の子どもの思春期と向き合って」 与謝の海支援学校中学部(京都)「Y君と歩んだ3年間～行動の裏にある本当の願いを考える」 甲田 靖 さん(神奈川)	
12,青年期の課題と授業づくり、教育課程づくり	山崎 由可里 さん(和歌山大学)
《Re》茶木原 寿奈さん(和歌山)「映画をつくろう!!もちろん主役は君たちだ」 細井靖子・荒田薫子さん(京都)「『青年期教育のバトンをつなぐ』～障害理解、進路学習、性教育を柱に」 千葉 真実さん(福島)「文化活動の中で成長しあう仲間たち」	
13,病弱の子どもたちの教育実践	猪狩恵美子さん(福岡女学院大学)
《Re》有本 香織さん(和歌山)「バラバラの生徒たちをつなぐもの」 橋岡 正樹さん(大阪)「大阪市立病弱特別支援学校の現状報告」 小出 信之さん(埼玉)「病気を力に私の夢をめざす—自立活動を中心に教育実践を見直してみました」	
14,保護者との共同・教育条件整備(「特別支援教育」の 動向・運動・学校づくり実践)	土方 功 さん(全教障教部長)
《Re》青木 透 さん(兵庫)「よりよい新設校実現をめざして～保護者との共同のとりくみ」 その他 愛知・東京・京都・埼玉・神奈川等から報告	
15,子どもの生活を考える(寄宿舎)	小野川 文子 さん(大和大学)
《Re》上村知栄子・三谷昌史さん(和歌山)「大人エレベーター—C子とのあゆみ—」 藤田 幹彦さん(大阪)「卒業を半年後に控えた高校生につけたいカーキャリア教育と生活教育の関連性の考察」 相澤 裕一さん(東京)「好きなことを大切に～こだわりの強い生徒の指導」	

青年交流会

18:00～20:00 アバロームきのくに

障害児学級交流会

18:00～20:00 アバロームきのくに

各県・ブロック別交流会

各所



教育フォーラム(1/12) 9:30～12:00

フォーラム名	主な対象	コーディネーター・講師
小中学校にいる「困っている」子どもたち～どの子ども大切に する教育づくり、地域づくり～	小中学校教職員等	宮本郷子さん
高等学校における特別なニーズをもつ子どもたちの教育	高等学校教職員等	白石 恵理子さん
親の願い、教師の願いと教育条件	保護者と教職員	
とっておきの授業づくり、学校づくり	素敵な実践を聞きたい方	木下博美さん、川端千央さん
子ども理解にもとづく教育目標、教育評価	障害児学級・学校教職員等	三木裕和さん

参加のお申し込みについて

1、参加の申し込み方法について

- ※ 所属されている各組合に、裏面の申し込み用紙にてお申し込みください。
- ※ 個人で申し込まれる方は、全国実行委員会に、裏面の申し込み用紙にてお申し込みください。
- ※ 各組織は参加者をまとめ、所定の用紙（各組織に別途送付いたします）にて全国実行委員会までご報告ください。申し込み先は、下記のお問い合わせまでお願いします。

2、参加費について

- 集会参加費
全日程・・・・・・・・・・ 3,000円
10日もしくは11日のみ・・ 2,000円
教育フォーラムのみ・・・・・ 1,000円
学生・保護者・・・・・・・・・・ 500円
- 交流会費（10日）・・・・・・ 6,000円

※今回の集会はお弁当の販売はありません。

3、宿泊について

- ※ 宿泊は、各自で確保をお願いします。和歌山市内は早めのホテル確保が必要です。

4、交流会（10日）について

- ※ 手配の関係がありますので、最終のお申し込みは12月25日（木）までにご報告ください。
- ※ 12月25日（木）以降のキャンセルはできません。申し訳ありませんが、全額をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

5、申し込み（報告）の締切について

- ※ 12月25日（木）【参加者名簿を作成しますので、可能な限りここまでにご報告ください】
- ※ ただし、集会への参加（交流会以外）は当日まで受付いたします。

6、参加費のお支払い

- ※ 集会当日、受付にて申し込み組織・個人ごとにお支払いください。

7、お問い合わせ（全国実行委員会・全教障教部）

- TEL（03）5211-0123 / FAX（03）5211-0124



全国障害児学級・学校学習交流集会 参加申込用紙

申込用紙に記載のうえ、各組織・団体本部にお送りください。
(個人で参加を希望される方は、直接この用紙で全国実行委員会までお送りください)

お名前	性別	所属組織・学校
TEL ※連絡のとれる電話番号をご記入ください。	E-mail	

■ 参加内容 (該当する箇所に○印および金額を記入してください)

	1/10 (土)	1/11 (日)	1/12 (月)	金額	備考
参加日程				円	全 3,000 円、11 日 or 12 日のみ 2,000 円 教育フォーラムのみ 1,000 円、父母等 500 円
交流会		—	—	円	6,000 円 (10 日開催分)
			合計	円	

1、参加の申し込み方法について

※ 所属されている各組合に、この申し込み用紙にてお申し込みください。

※ 組合などに所属せず、個人で申し込まれる方は、全国実行委員会にこの申し込み用紙にてお申し込みください。申し込み先：FAX (03) 5211-0124

2、宿泊について

※ 宿泊は、各自で確保をお願いします。和歌山市内は早めのホテル確保が必要です。

3、交流会 (10日) について

※ 手配の関係がありますので、最終のお申し込みは12月25日 (木) までにご報告ください。

※ 12月25日 (木) 以降のキャンセルはできません。申し訳ありませんが、全額をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

4、申し込み (報告) の締切について

※ 12月25日 (木) 【参加者名簿を作成しますので、可能な限りここまでにご報告ください】

※ ただし、集会への参加 (交流会以外) は当日まで受付いたします。

5、参加費のお支払い

※ 集会当日、受付にて申し込み組織・個人ごとにお支払いください。

6、お問い合わせ (全国実行委員会・全教障教部)

■ TEL (03) 5211-0123 / FAX (03) 5211-0124

担当：土方、松村